



SDGs

国連 SDGs の達成に向けたアクション
茨城大・常磐大・茨キリ大共催で講演

茨城大学・常磐大学・茨城キリスト教大学の三大学共催による講演会「SDGs 達成に向けた地域・大学のアクションを考える」を、7月25日、本学水戸キャンパス図書館において開催しました。各大学のキャンパスにもVCSで配信され、参加者は345人に上りました。

2030年までに世界が達成すべき17の目標をまとめた国連のSDGs（持続可能な開発目標）

について、冒頭で前国連地域開発センター所長の高瀬千賀子氏が基本的な概念や策定の経緯を解説したあと、各大学の学長がそれぞれの取り組みを紹介。茨城大学の三村信男学長は茨城県地域気候変動適応センターの開設や教育改革の取り組みを報告しました。また、国連に勤めた経験ももつ常磐大学の富田敬子学長、茨城キリスト教大学の東海林宏司学長もそれぞれ授業や研究での活動に触れました。



後半は3人の学長が鼎談に臨み、「茨城という地域との関係」「必要な人材」「大学から提案していけること」といった視点で見解が語られました。その後の質疑応答では、学生たちが

らSDGsについて学べる具体的なプログラムについて質問があり、各学長とも、具体的な機会を積極的につくり、示していくことを約束しました。

研究



小惑星が外惑星領域から移動してきたことを証明

理学部の藤谷渉助教、マックス・プランク化学研究所（ドイツ）のペーター・ホッペシニアリサーチサイエンティスト、海洋研究開発機構（JAMSTEC）高知コア研究所の牛久保孝行技術研究員、東京大学大気海洋研究所の佐野有司教授らによる

国際研究チームは、隕石の炭酸塩鉱物からもとの小惑星に含まれていたドライアイス（固体二酸化炭素）の存在量を推定しました。そのデータをもとに、現在小惑星帯に集中している小惑星の一部がもとは太陽系の外惑星領域（木星軌道の外側）で形成され、その後現在の軌道へ移動した可能性が高いことを、世界で初めて実験データによって明らかにしました。今後、小惑星の形成過程の解明や惑星探査計画の発展につながることを期待されます。この成果は「Nature Astronomy」に2019年7月2日に掲載されました。

教育・学生

県の柴原教育長招き講演
「教師の魅力」熱く語る

7月24日、茨城県教育委員会の柴原宏一教育長を招き、教員志望の学生たちを対象とする「茨城大学全学教職センターシンポジウム 学生と語る教師の魅力」を開催しました。柴原氏は高校で生物の教員を務めた後、茨城県立日立北高の校長や県教育次長などを歴任し、定年後は茨城大学でも教鞭をとりました。2017年に県教育長

に任命され現在に至ります。「生徒たちは可能性のかたまり。その可能性を引っ張っていくことが教師の仕事」と語る柴原氏は、「授業だけではなく、生徒との関わりすべてが大切。必死に生きている子どもたちに、教師は本音でぶつかっているだろうか」とフロアに問いかけた上で、教師という仕事の魅力として、「毎日子どもの言動に感動できること」と「生徒によって自分が成長できること」を挙げました。後半の直接対話のパートでは、学生たちから自身の性格なども踏まえた教職への不安が率直に語られ、柴原氏は「自分ひとりで責任を抱え込もうとせず、不安も『本音』として発信して」とエールを送りました。

教育・学生

成績優秀学生を表彰
表彰者は授業料一部免除

7月31日、令和元年度前学期成績優秀学生表彰式を行いました。この制度は、学生の勉学意欲の向上に資することを目的として、学業成績が特に優れ、かつ、人物が優秀であると認められる学生を表彰するとともに、授業料を免除するというもの。今回は、学部4年次生34名・大学院修士課程1年次生31名の計65名に表彰状を授与しました。表彰された学生は、令和元年度前学期分授業料の一部が免除されます（授業料の全額免除を受けている学生は除く）。表彰式で三村学長は、「勉学を通して将来どうなりたいか、ということを考えることは非常に重要。本日の表彰を契機にして、さらにいろいろな場所で活躍されることを期待する」と語りました。これに対し、表彰を受けた学生は「今までの努力の結果として表彰を受けることができ、とても嬉しい。指導いただいている先生方、また支えてくれる仲間へ感謝したい。今後色々な経験を積み、社会全体に貢献できるような人になりたい。」と謝辞を述べました。

今号の一枚



オープンキャンパス 今年も大盛況！

おもなメディア掲載

- 7/1 茨城新聞「茨城大に新お土産 学生団体、焼き菓子5種 板東太郎が協力 県産食材こだわる」70周年記念いばいふいなんしゅ
- 7/1 東京新聞「未来描ける人 確実にいる」県「パートナーシップ宣誓制度」清山教授にポイント聞く 県主催の勉強会の委員長を務めた人社・清山玲教授コメント
- 7/3 東京新聞（全国夕刊）ほか「小惑星 木星の外側で誕生→移動？ 茨城大など 隕石分析し証明」理・藤谷渉助教
- 7/7 東京新聞「くいばらきひと物語」NPO法人ドットジェイビー水戸支部代表 黄川田梨花さん 一票の大切さ伝える」人社 学生
- 7/6 日刊工業新聞「茨城大学 創立70周年」茨城県特集ページにおいて5月の記念式典の取材記事掲載
- 7/10 NHK（全国）『おはよう日本』「40億年前に土星や天王星が大移動？ 隕石の分析で」理・藤谷渉助教、成果について会見
- 7/12 フジテレビ『めざましテレビ』「めざまし25周年企画「日本つながるプロジェクト」陸上競技部の学生たちがランナーとして参加
- 7/13 茨城新聞「世界一周の経験 紹介 徳田さん、母校の茨城大付中で講演「好奇心を大切に」」附属中で卒業生の徳田和嘉子さん講演
- 7/22 しんぶん赤旗「＜科学＞地質時代「チバニアン」命名？これが「奇跡の地層」 一見地味に見えるが 77万年前の海底出現「人類の時代」刻んで」
- 7/30 NHK（水戸）『いば6』「データ分析を政策立案に」人社・後藤玲子教授のゼミの取り組み、水戸市と連携した学生進行のワークショップの様相を紹介
- 7/30 茨城新聞「＜持続可能な開発目標＞課題解決へ人材育成を 茨城大、常磐大、茨城キリスト教大 3学から意見交換へ水戸」